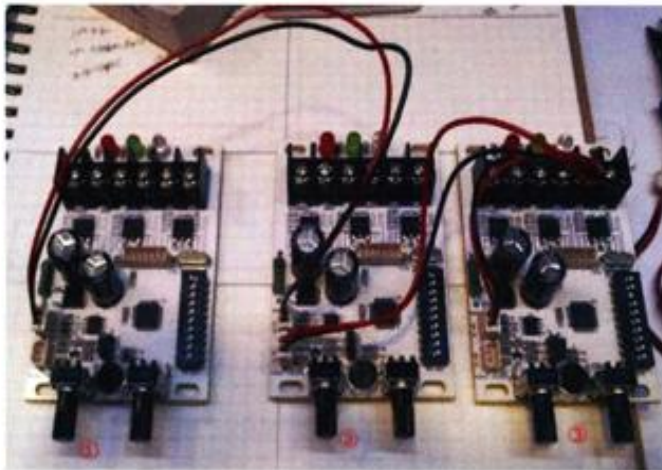
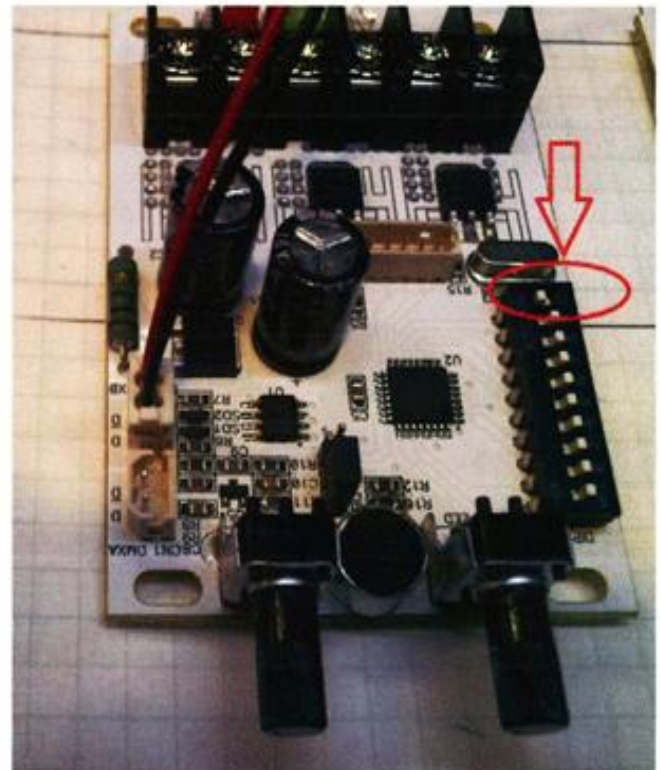


コントローラー通信線連結方法

回転型4球モジュールを複数のコントローラーで連結し、一つのコントローラーで制御する必要がある場合は、下図のように接続します。



3台コントローラーの接続方法



メインコントローラーから信号を受けるだけの受信機として使いたいコントローラーは、10番スイッチをONにします。

*コントローラーの10番スイッチをOFFにするとそれがメインコントローラーになります。

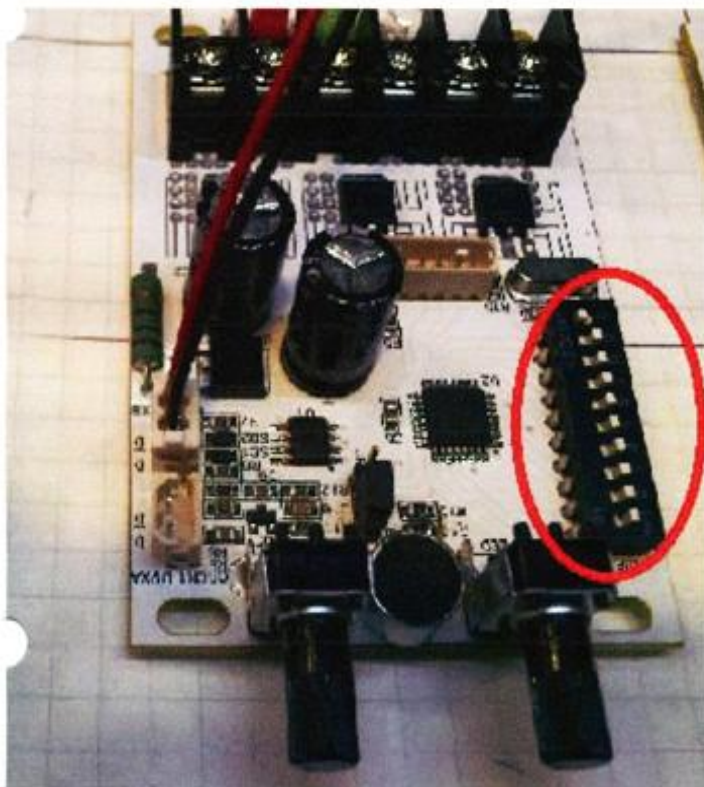
*コントローラーの10番スイッチをONにしたらそれは受信機として動作します。

コントローラーの演出モード

弊社開発・製作の回転型モジュール(4球、5球)は、このコントローラーで制御可能です。

*下図のスイッチ1～9番にそれぞれ演出パターンがプログラムされているのでON(上に上げる)にしたモードが1番から9番への準で演出されます。

*コントローラーの10番スイッチをONにしたらそれは受信機として動作します。



- 1番ON: 2点1減で回転するモード
(ぐるぐる回るような感じのモード) → 10回
- 2番ON: モード1の反対方向 → 10回
- 3番ON: モジュール全体がOn/Offの繰返し
→ 10回
- 4番ON: モジュール全体が調光しながら
On/Offの繰返し → 6回
- 5番ON: XXYYYYYY～のXグループとYグループで
分けて、交互で調光しながらOn/Off繰返し
→ Xグループ5回、Yグループ5回
- 6番ON: R-RG-RGB-全体Off、の繰返し → 10回
【矢印点滅の演出に適切】
- 7番ON: モード6番の反対方向 → 10回
- 8番ON: モード1, 2, 4を一つのセットで演出
- 9番ON: モジュール全体が点灯

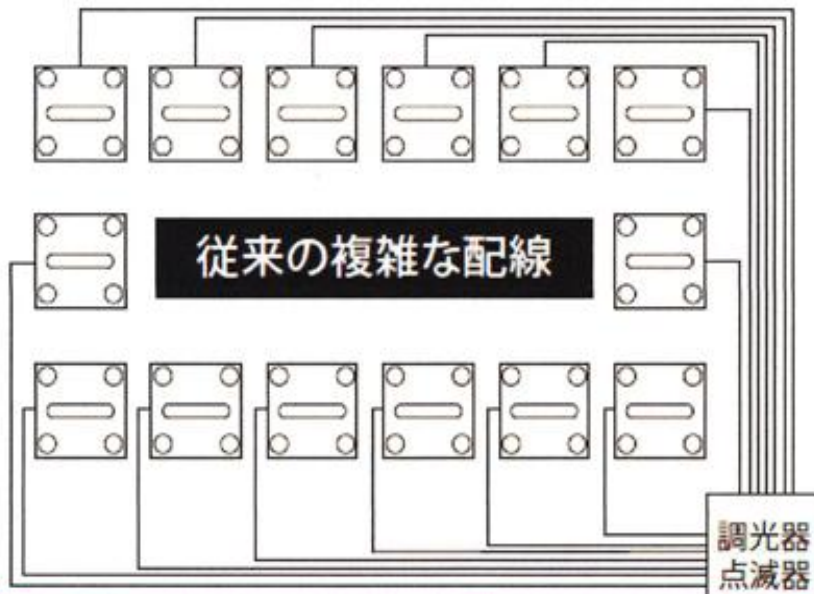
10番: 通信スイッチ

(※単体で、10番がONになっていると何も動作しませんのでご注意ください)

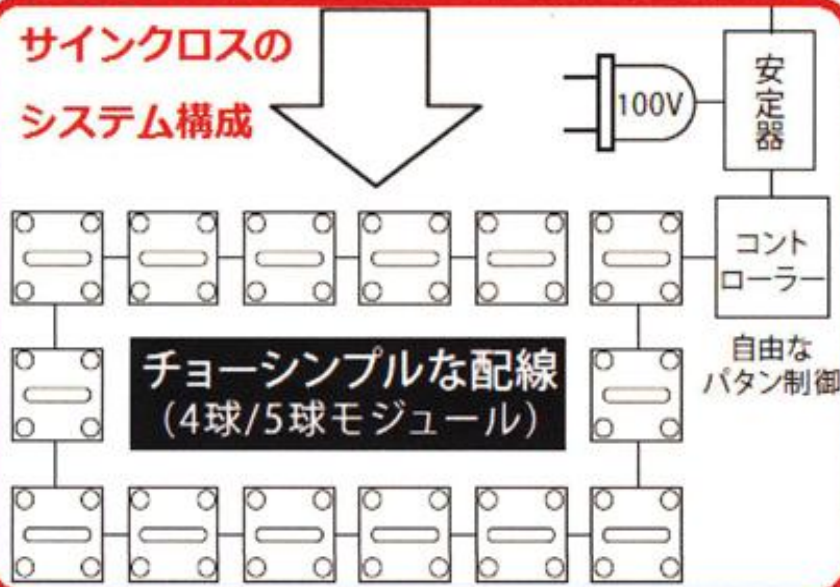
上記以外に、特殊な回転・演出パタンの希望がある場合も初期プログラム費用はかかりますが、対応可能です。

システム構成の特徴

◆ グルグル点滅LEDモジュール



サインクロスの
システム構成



※ 簡単な配線、接続！！

※ 演出モードを楽にプログラムから選んで演出可能！！

※ 選んだモードだけで自動演出！！

アイキャッチの為、自分だけの演出パターンも製作可能ですのでお気軽にご相談ください。

- * 少量(48個単位)でも販売可能
- * ご希望の規格にあわせたシステム構成(モジュール数、消費電力など)を提案
- * モジュールの色温度はクールホワイト(10000K)
- * 単体駆動

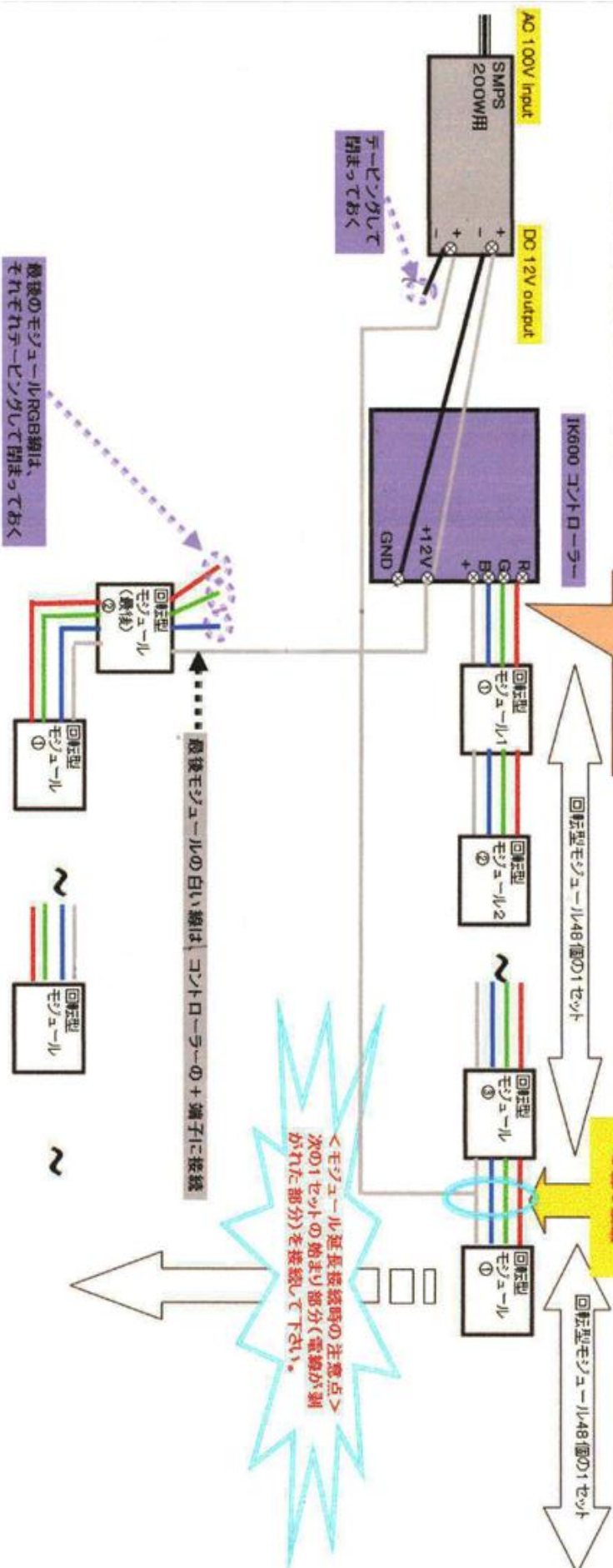
お気軽にご相談・お問い合わせ下さい！！

回転モジュール92個を接続し、1台のコントローラーで制御する場合の接続例

4球消費電力:1.44W、5球モジュール消費電力:1.5W
モジュール48個の1セット消費電力=約70W程度

モジュール48個の1セットの始まり(物品名、電線を接続している方)から接続

異なるセットを越える場合は、同じ色の線で接続



モジュールを切断・延長接続時の注意点！！

回転型モジュールは電気信号制御のために、実際に内部で三つ①、②、③で区別されているので、演出バタンの綺麗な制御の為に、接続時、下記のご注意が必要です。
1セットモジュール(48個)は、①、②、③、①、②、③のように①、②、③の繰返しに繋がっているのです。
モジュールの途中で切断したり、前回、使い残ったものを接続して使う場合は、全体的に①、②、③の繰返しになるように配置し、接続する必要があります。

あ。モジュールの接続時、電線の結線は、必ず同じ色同士で接続する。

い。モジュールの途中を切断する際には、それが①で終わったのか、②で終わったのかを確認し、残り部分の始まり番号をモジュール裏面などに表記しておいて次回に使う時に、参考できるようにしておく。

※上図の配線図では、モジュール最後が②で終わっている(02個=48個+44個)ので使い残ったモジュールは、③、①、②、③の構成で4個になる。*

次回にそれを別の条件で使う場合は、それを先に、コントローラーにつなげれば、別に、裏面に表記をしまくても大丈夫でしょう。ただ、使い残ったモジュールの最後が③で終わっているのが前提(とにかく、前回、使い残った部分を先に、コントローラーにつなげれば、別に、裏面に表記をしまくても大丈夫でしょう。ただ、使い残ったモジュールの最後が③で終わっているのが前提)